

東舞子

2017/1/31 (2月号)

神戸市立東舞子小学校

平成 28 年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

時代の流れを読む

1月は行く、2月は逃げる…の言葉通り、つい先日、年が明け3学期が始まったと思っていると、もう明日からは2月です。今週末の3日は節分、4日は立春と暦の上では春を迎えます。苔谷公園の遊歩道を歩いていると、寒さに震えながらも、桜の木の枝に新芽が出ていました。とはいえ、一年中で、一番寒さが身に染みるこの季節、体調を崩すことのないよう、ご家庭でも手洗い・うがいの励行など、感染症や風邪の予防を心がけてください。

また、1月17日の学校オープンデーには、平日にも関わらず、多数の保護者の方に参観していただき、有り難うございました。子供たちも、たいへん学習の励みになったことと思います。

さて、アメリカ合衆国では、バラク・オバマ大統領に代わり、第45代大統領にドナルド・トランプ氏が就任しました。彼の一挙手一投足に世界中が注目しています。米国第一主義と保護貿易政策を掲げるトランプ氏に対して、米国と密接な関係にある日本も、無関心ではおれない状況です。政治や経済の難しい話は別にして、小学校でも、6年生の社会科で基本的な日本の政治の仕組みや世界情勢（世界の国々との結びつき）について学習します。そんな訳で、子供たちにもアメリカ合衆国の新しい大統領の名前ぐらいは覚えてもらおうと、先週の朝会でトランプ氏のことを紹介しました。また、一昨年法律改正で、選挙権の年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられ、昨年の夏に行われた参議院選挙から18歳以上の投票が実施されています。小学校6年生の児童にとっても、6年後には選挙権が行使されるわけで、決して遠い先の話ではありません。今から、政治や経済に関心を持ち、少子高齢化を迎える日本の中心的な世代として、日本や世界の将来について考えてほしいと願っています。

話は変わりますが、時代の流れは、政治の世界だけではなく、身近なところでも起こっています。先日、テレビのニュース番組を見ていると、家族の成長を記録したVHSテープをDVDに移し替える作業を2時間あたり600円程で行っている業者の話題を取り上げていました。現在では、技術革新により多種多様な記録媒体（磁気ディスク、光学ディスク、フラッシュメモリなど）が普及していますが、パソコンが一般的に使用されるようになるまでは、磁気テープ（VHS・S-VHS・ベータマックス・8ミリなど）が主流でした。我が家でも、子供たちの小さかった頃の思い出を記録したVHSテープが、手付かずのまま段ボールの中に眠っています。その後、パソコンの普及やブルーレイディスクの登場、デジタルテレビ放送の開始など、「デジタル化」や「ハイビジョン化」が進み、VHSテープやVHS録画再生機は、次第にこの世の中から消えていきました。そこで、保存性のことを考えたとき、容量も大きく、比較的保存年数の長いDVDへ過去に撮ったビデオテープを移し替えようとしているという内容でした。

学校の中では、日常茶飯事のように文書が作成されています。授業で使う資料であったり、保護者向けに配布する案内であったりと様々です。私が教員になった当初は、原紙を鉄筆で削って書いた原稿を輪転機で印刷していました。その後、ワープロで文書を作成するようになり、現在では、ほとんどの事務的な仕事は、ノートパソコン（教員用端末機）で行っています。学校での文書作成ひとつを取り上げてみても時代の流れを感じます。私たち教職員も、技術革新を含めた時代の流れに乗り遅れないよう、社会情勢に精通し、教育の現場で働くプロとして、日々研鑽に努める覚悟で新たな時代に立ち向かっていきたいと思えます。

校長 梅鉢 泰博